

2022年9月1日発行

名古屋水道展にあわせて10月21日（金）に名古屋で講演会を開きます

最近の状況

ロシアによるウクライナ侵攻開始から半年がすぎました。テレビの報道を見るにつけ、本当に理不尽な話であり、ウクライナの人たちが気の毒だと思います。他方、米国のペロシ下院議長の台湾訪問後、台湾海峡を巡る緊張が一気に高まってきています。このような状況下でも気候変動による地球の危機は一層深刻です。世界は結束した行動をとるべきではないでしょうか？



サルスベリ

8月(拡大)準定例会を開催

2022年8月17日（水）に、Zoomによる拡大準定例会を開催。今回は、PPP契約における有限責任性の問題を取り上げ、安間匡明氏（土木学会会員・土木学会インフラファイナンス研究小委員会委員長）から、「官民連携（PPP）における有限責任性に関する研究（安間氏の博士論文）」を発表。参加者は15名。詳細は、水道公論10月号に掲載されます。

水道公論9月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは山口岳夫氏（水道技術経営パートナーズ株式会社 代表取締役）による「小規模水供給システムの管理に資する類型別分類と課題への対応策の検討」を、コラム「海外ビジネスの眼」では「アジアのエネルギー安全保障（石炭依存からの脱却）」を掲載。

定例会・幹事会の開催について

- ZOOM幹事会は、9月9日（金）20時から。9月、10月定例会の開催内容の確認や今後の予定についての説明・相談、PFI法の解説等を予定。
- 9月13日（火）（12時半から14時半）は、水道会館第5会議室(zoom併用)に於いて気候変動技術の2回目（気候変動問題—調整力とグリーン水素）を開催します。講師は今井茂樹さんです。

予告：講演会（名古屋）

- 名古屋で10月に水道展が開かれる機会に、当研究会は10月21日（金）午後名古屋で講演会「上下水道事業のPPPと公民連携のこれから」を名古屋駅近くにて開催します。
- 日時：2022年10月21日（金）開場13:30、開会14:00 閉会16:30 (Zoom同時配信有)
- 会場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）名古屋市中村区名駅4丁目4-3 81107会議室、会場定員：40名（先着順）
- 協力 日本水道新聞社
- 講師（敬称略）：吉村和就（グローバルウオータージャパン代表）「最近の国内水道PPP事業（みやぎ方式の現状と課題に焦点をあてて）」、鈴木康二（元立命館アジア太平洋大学教授）「ベトナムを含むアジアのPPP法制度の現状と課題」、安間匡明（土木学会インフラファイナンス研究小委員会委員長）「官民連携（PPP）における有限責任性について」
- パネルディスカッション

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。